

池田 剛士

差出人: 花王ホームページお問い合わせ窓口 <web_support@kao.co.jp>
送信日時: 2018年1月23日火曜日 9:52
宛先: 池田 剛士
件名: RE: お願い (みと・あかつかカンファレンス)
分類項目: 分類項目 緑

池田さま

お世話になっております。
花王ホームページお問い合わせ窓口の辻本です。

ご質問の内容について、担当者に確認をいたしました。
下記は、担当者からの回答内容です。

この度は御質問をいただいてから
お時間をいただいてしまいすみません。
今後とも何卒よろしくお願ひいたします。

【担当者からの回
答】・・
・・

謹啓

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、お問い合わせいただきました、弊社WEB上の記事、
「ネバネバのもとはおもにペクチンやムチン」と記述する根拠に関して、ご返答申し上げます。

ご指摘の記事（2010年8月制作）につきまして、作成した会社に問い合わせを行いましたが、
監修した方に連絡を取ることが出来ず、事実確認をすることができませんでした。
該当記事は、料理のご紹介ページということで、掲載時に、弊社の方で
十分な根拠確認までできておらず、対応が不十分だったこと、お詫び申し上げます。

また、該当記事は、2010年8月制作のもので、既に弊社HPからは削除して
おりましたが、Web上で閲覧可能な形で残ってしまっておりました。
直ぐに、該当記事を含む、料理紹介記事のすべてを、WEB上から削除いたします。
今後はこのようなことがないよう、細心の注意を払ってまいります。

この度は、ご連絡が遅くなってしまい、大変申し訳ございませんでした。
今後とも、ご愛顧のほど、よろしくお願いいたします。

花王 オリエナ担当

.....
.....

-----Original Message-----

From: 池田 剛士 [mailto:ikedata@acsec.co.jp]
Sent: Friday, January 12, 2018 5:58 AM
To: 花王ホームページお問い合わせ窓口
Cc: imoichi2025@gmail.com
Subject: RE: お願い（みと・あかつかカンファレンス）
Importance: High

学術秘書
池田です。

承知いたしました。

では。

この件に関するお問い合わせ先：
みと・あかつかカンファレンス事務局長
ラクトース研究班「いもいち 2025」班長代理
有限会社学術秘書
本店営業部
池田剛士
〒311-4141
茨城県水戸市赤塚 1-386-1-107
電話：029-254-7189
携帯：090-4134-7927

-----Original Message-----

From: 花王ホームページお問い合わせ窓口 [mailto:web_support@kao.co.jp]
Sent: Thursday, January 11, 2018 12:47 PM
To: ikedata@acsec.co.jp
Subject: RE: お願い（みと・あかつかカンファレンス）

池田さま

平素より花王ホームページをご覧いただきありがとうございます。
花王ホームページお問い合わせ窓口の辻本と申します。

いただいたご質問の件ですが、担当者に確認中です。
数年前の記事内容であるため
確認にお時間をいただいております。

担当者から連絡が入り次第
追って池田さまにご連絡いたします。

引き続き何卒よろしくお願いいたします。

花王株式会社
辻本

-----Original Message-----

From: ikeda@acsec.co.jp [mailto:ikeda@acsec.co.jp]

Sent: Wednesday, January 10, 2018 9:55 PM

To: 花王ホームページお問い合わせ窓口

Subject: お願い（みと・あかつかカンファレンス）

お名前（漢字）：池田剛士

お名前（ふりがな）：いけだつよし

電話番号：029-254-7189

メールアドレス：ikeda@acsec.co.jp

Q:1 お問い合わせ内容：

お願い（みと・あかつかカンファレンス）

学術秘書
池田です。

「ムチン」と記述する根拠についてご教示くださいますようお願いいたします。
https://www.orienta.jp/docs/recipe_1008.html

現在、インターネットを中心に、野菜に含まれるネバナネバを”ムチン”と呼ぶ情報が誤りであったことが判

明し、訂正削除が始まっております。

(国の機関、全国の都道府県庁、自治体でも対応が進められております。)

国の調査の結果、今回の誤報は、この10年、15年、さらに明治の頃にまでさかのぼる誤報で、しかも日本国内だけで拡散させられていた事実が明らかにされております。

(ご入用の場合、国の調査結果を含めた、詳細な資料をご提供いたします。)

残念ながら、医療機関からも誤報が多数発信されていることが確認されております。

“氷山の一角”ではありますが、Google キヤッシュ検索に基づく誤報発信者リスト“日本医療機能評価機構認定病院 (2017年12月20日現在)”を送付いたします。

<http://acsec.jp/hospital.html>

本件は、“2020年東京オリンピック、パラリンピック”開催、“和食”の国際化、“観光立国”の推進など国益にかかわる重要案件でもあり、誤報の拡散、再発防止への皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

※参考

[1] デジタル大辞泉：

ムチン (mucin)

動物の上皮細胞・粘膜・唾液腺などが産生する粘性物質の総称。糖たんぱく質の一種で、アミノ酸がつながったポリペプチド鎖に糖鎖が枝状に結合した構造をもつ。

[補説] オクラや山芋などに含まれるぬめり成分もムチンと呼ばれることがある。これは高分子の多糖類とたんぱく質が結合したもので、動物の粘液に含まれるムチンとは異なる。

<https://kotobank.jp/word/%E3%83%A0%E3%83%81%E3%83%B3-140618>

[2] 丑田公規「クラゲの有効活用の限界とムチンの化学」『化学と教育』Vol. 65 (2017) No. 5 p. 228-231：

ムチンという化学物質については、一般人のみならず専門家の間にも誤った情報や呼称が広がっている。そこで、一般の化学教育に携わっている方に正確な情報をていねいにお伝えするため本稿を執筆することにした。

https://www.jstage.jst.go.jp/article/kakyoshi/65/5/65_228/_pdf#page=3

[3] 岩波書店『広辞苑 第七版』(2018年1月12日発売)：

<http://kojien.iwanami.co.jp/>

[4] 理化学研究所：

2018年1月1日時点では、植物においてムチンは確認されていません。

http://www.riken.jp/pr/press/2009/20090415_2/

では。

この件に関するお問い合わせ先：

みと・あかつかカンファレンス事務局長

ラクトース研究班「いもいち 2025」班長代理

有限会社学術秘書

本店営業部

池田剛士

〒311-4141

茨城県水戸市赤塚 1-386-1-107

電話：029-254-7189

携帯：090-4134-7927

Q:2 お使いのOS (ホームページの閲覧等に不具合がある場合は、お知らせください)：

Q:3 お使いのブラウザ (ホームページの閲覧等に不具合がある場合は、お知らせください)：